

第3回 4大学間「学生交流自主的・実践的研究プロジェクト」  
研究成果発表会

7 中心市街地活性化に対する学生からのアプローチ



発表者 : 近藤 美由紀・山田 恒さん

## 発表内容

題目 : 中心市街地活性化に対する学生からのアプローチ

研究者 : 愛媛大学 農学部 生物資源学科

近藤 美由紀・山田 恒

坂井 麻理子・木下 裕司

野口 貴光

## 目 次

1. はじめに	1
2. 通常活動	3
3. 情報発信	5
4. イベントの開催	5
5. 他団体との交流	7
6. まとめ	8
7. 謝辞	9
<参考>Mスターターズ紹介文	10
機関紙『ぽんぽこ』4月号	11

## 1. はじめに

本プロジェクトの目的は、さまざまな課題を抱える中心商店街について、学生の視点からアイデアを出し、実践できる体制を整えることであった。中心商店街の諸問題は松山市に限らず全国の中小都市に共通するものであることから、同様の課題を抱える他都市、およびそこで活動する学生団体との交流を通して、様々な知恵や工夫を共有、発展させていこうということを主眼とした。

学生の視点から中心商店街の活性化に取り組む事例としては、高知市のエスコーターズ（高知女子大が中心、以下「エスコ」と略記）、広島市の広島ショッピングモールシスターズ（広島修道大が中心、以下「SmS」と略記）、富山市の富山T-angels（富山国際大が中心、以下「T-angels」と略記）などの先進事例が報告されている。このプロジェクトでは、愛媛大学生（5名）と松山大学生（16名）によって構成される「Mスターターズ」（代表：農学部学生 近藤美由紀、以下「Mスタ」と略記）が中心となり、学生が主体となって考え、実際に行動することによって松山市の中心商店街の活性化の「起爆剤」となるべく種々の活動に取り組んだ。

本プロジェクトの企画や実践を通して、これまで以上に新たな問題点も明らかになりつつある。「Mスターターズ」が中心商店街の中で市民権を得ていく中で、既存の商店街組織との情報交換、そして、学生による他のイベント企画団体との連携など、一過性ではない長期的・持続的な取り組みが必要であることも明らかになってきている。中心商店街の問題への取組は、まさに緒に付いたばかりである。

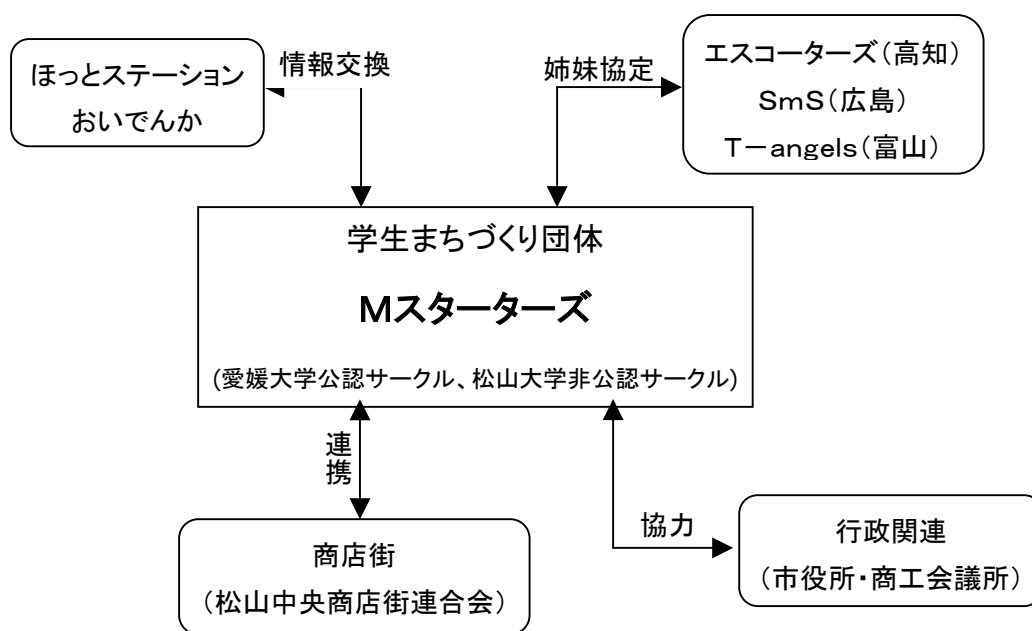


表1 Mスタ 2004 年度活動記録

<b>2004 年</b>	
4/18(土)	南海放送ラジオ「オールナイト南海」出演
4/30(金)	番町地区安全安心まちづくり推進協議会主催「100人パトロール」参加
5/15(土)	あいテレビ取材
5/21(金)	松山大街道商店街振興組合より感謝状の授与
6/5(土)・12(土)・13(日)	商店街アンケート調査実施
6/10(木)	読売新聞取材
6/26(土)	今治・まちかど水先案内人訪問、合同活動 銀天街第二商店街ギャラクシービジョン「えーがね4丁目」撮影
7/1(木)	松山東警察署主催「防犯パレード」参加
9/5(日)・6(月)	高知エスコーターズ訪問
9/27(月)	商店街定例会にオブザーバーとして参加
10/5(金)	おいでんか2F「サロン夢工房」オープニングセレモニー参加
10/19(火)	商店街定例会にオブザーバーとして参加
11/3(水)	ロープウェー街城山門前祭にスタッフとして参加協力
11/13(土)・14(日)	愛媛大学学生祭にて活動内容等の展示
11/14(日)	愛媛大学地域早世研究センター主催シンポジウム 「学生たちによる商店街の活性化」にて活動発表
11/15(月)	商店街定例会にオブザーバーとして参加
11/20(土)	松山中央商店街主催「アマチュアアコースティックライブ」にて 審査員・警備スタッフとして参加協力
11/23(火)	日本ガーディアン・エンジェルス松山支部主催 「落書き消し体験」においてスタッフとして参加協力
12/4(土)	愛媛新聞取材
12/18(土)	松山中央商店街主催「新潟県中越地震」チャリティーライブにて 警備スタッフとして参加協力
12/23(木)	Mスタ主催イベント「X'mas street 2004」開催
<b>2005 年</b>	
1/1(土)	FM愛媛「Dream collaboration 新春スペシャル」出演
1/10(月)	松山中央商店街主催「祝・新成人フェスタ」にて スタッフとして参加協力
3/12(土)・13(日)	Mスタ主催「学生まちづくりサミット」開催
3/20(日)	松山中央商店街からの委託事業：商店街の通行量調査
3/26(土)	愛媛大学メディアサポーター取材

## 2. 通常活動

日時：毎週土曜日 11時～16時

場所：松山の中心4商店街(ロープウェー街、大街道、銀天街、まつちかタウン)

内容：①挨拶運動(写真2-1)

②子どもへの飴や折り紙、喫煙者への携帯灰皿配布(写真2-2)

③商店街の美化推進(写真2-3)

④お年寄りのエスコート(写真2-4)

⑤観光客のご案内・来街者へのご案内

以上の5つの活動をしながら、中心商店街を歩いて、商店街の様子を知る。

また、活動後ミーティングを開き、活動で感じたことを話し合い、日報としてまとめ、商店街にその様子や感じたことを報告する。(写真2-5)

松山の中心4商店街は、観光客や地元住民(若者から高齢者まで)が集まる場所である。多種多様な来街者がある中で、商店街の明るさをアピールして、商店街に訪れやすい安全で安心な街を作り上げるために、挨拶運動を行っている。挨拶での防犯効果や親近感が沸くといった効果が、挨拶に見られることが報道されているからである。しかし、こうして多くの人が入り出すことで、ゴミのポイ捨てが多いのが問題点である。気持ちの良い環境を作り出し、より商店街を明るくしていこうと、美化推進の一つとして、通常活動中に清掃道具を持ち、ポイ捨てされたゴミを回収ながら商店街を歩いていく。親が子どもを連れて商店街に来ることもあるので、パフォーマンスのひとつとして、子どもに飴玉や折り紙を配布している。さらに来街者とより親密に交流していくために、観光客への観光案内や来街者へ商店の紹介なども行っている。

初めは、各商店にもまだMスタの存在すら認知されていない状態だったので、商店が求める商店街の理想像すら知り得なかった。観察により商店街の情報収集をすることしかできず、Mスタの活動の方向性を見失うこともあった。そこで、情報収集のひとつとして、Mスタを認知してもらい、商店街や来街者の要望を満たしていこうと考えた。活性化を促すために、商店街や来街者に情報を発信しようという新たな目標を見つけたのである。つまり、商店街と各商店、また各商店と来街者の「架け橋」となり、双方の意見を伝え、そこから何が必要かを考えて実行していくことを、活動のひとつとして加えた。

1年間継続して活動を行った結果、今では「こんにちは」と返事をしてくれるのに加え、「ご苦労様」や「ありがとう」などと言った言葉をかけてもらえるようになった。オレンジ色のユニフォームも認知され始め、商店街で携帯灰皿を自主的にもらいに来る人、道や場所を聞いてくれる人、会うたびに声をかけ、世間話をし合う仲になった人など、毎週たくさんの人と交流できるようになった。今では、お客さんたちや商店の人たちとある程度親しく話せるようになり、直接双方から得る情報が多くなった。(写真2-6)

この通常活動は、とても基本的で単調なものであるが、ここから商店街に必要なイベントの提案につながることもあるので、この通常活動なしでは商店街の活性化を考える、ということほぼ不可能であると考えている。



写真 2-1 挨拶活動



写真 2-2 折り紙の配布



写真 2-3 美化活動



写真 2-4 お年寄りのエスコート  
(地元住民との交流)



写真 2-5 日報の作成



写真 2-6 商店の人との交流

### 3. 情報発信

情報発信の具体的な方法として、機関紙「ぼんぽこ」を提案し、作成・編集・配布といった全工程を受け持った。商店街の魅力だけでなく、より商店街に興味を持ってもらおうとMスタの活動を紹介するページも設けた。取材や編集作業に時間がかかるので、発行は隔月とした。

取材の際に店主たちと交わすその会話の中で、店主たちは商店街に対してしっかりとした意見を持っていることが分かった。この意見はまだ内に秘めているだけで、組合レベルになるとお店の立場上話ができなかったり、話をする機会すらなかったりする。この取材を通して、商店街の魅力を知ると同時に、商店の抱える問題を直接聞くことができた。なお、「ぼんぽこ」は2004年度は4月・6月・8月・10月・12月の5回発行した。(参考資料2)

### 4. イベントの開催

来街者に X'mas の雰囲気をつくり楽しんでもらうため、昨年に引き続き、今年もMスタ主催のクリスマスイベント「X'mas street 2004」を開催した。同時に、このイベントを開催するにあたり、Mスタと商店街の人々が協力してひとつのものを作り上げるという過程の中で、お互いの交流を深めていきたい、ということも目標の一つであった。

#### X'mas street 2004 ～彩る街・響きあう街～

期日：2004年12月18日(土)～25日(土)

実施場所：松山中央商店街(大街道・銀天街・まつちかタウン)

主催：Mスターターズ

共催：松山中央商店街連合会

協賛：愛w o r k (愛媛県若年者就職支援センター)

内容：○クリスマスコンサート (写真 4-1)

12月23日(木・祝)15:00～18:00、大街道「Big Bang」前に特設ステージを設置し、クリスマスの雰囲気たっぷりのアコースティックコンサートを開催。また、買い物途中に休憩しながら鑑賞できるように、ステージ前にはイスやテーブルを設置し、コーヒーの無料配布も行った。

○手作りリースコンテスト(写真 4-2)

リースを一般の人から出展してもらい、12月18日(土)から25日(土)まで銀天街の「ほっとステーションおいでんか」に展示。コンテストは一般の部・小学生以下の部があり、来街者に投票してもらい、最優秀・優秀作品を決め、12月23日(木・祝)13:00～表彰式を行った。

○ツリー (写真 4-3)

12月20日(月)から25日(土)、銀天街に4本のツリーを設置。ツリーには、地元の保育園・幼稚園の子供達が書いてくれた「サンタさんへの願いごと」をオーナメントとして飾った。大街道三越前にはペットボトルで作ったツリーを設置。まつちかタウンには、12月23日(木)にブースを設け、来街者に願い事を書いてもらい、ツリーに飾ってもらった。



●シークレットイベント「サンタが街にやってきた！！」

12月23日(木)、サンタクロースに扮したメンバーが街にくりだし、子供たちにクリスマスバージョンの折り紙を配った。なお、その際はアーケード内のバックミュージックも統一したものをかけてもらい、街全体にクリスマスの演出を行った。

今回のイベントの目的は、「来街者にクリスマスの雰囲気を楽しんでもらうこと」「イベントを開催するにあたり、Mスタと商店街の人々が協力してひとつのものを作り上げるという過程の中で、お互いの交流を深めていきたい」、この2点であった。今回このイベント全体を通して、商店街の広範囲で多くの来街者を楽しんでもらえたようだ。サンタクロースの衣装で折り紙を配っているとき、またイベントの運営上アーケード内を行ったり来たりしているときなど、来街者がツリーやサンタ、手作りリースを見て楽しそうにしている姿が多くみられた。商店街の方とのかかわりは、どのように関わっていけばいいのか分からずお互い手探り状態ではあったが、中には積極的に連絡を取り合ってください方、また「困ったことがあったら言って」と力強い言葉をくださった方もおられ、これからの活動につながる基盤づくりができたと思っている。また、このようなイベントを継続して行っていくことで、もっとたくさんの商店街の方々と交流を図って、「商店街でイベントをすることの意味」をもっと明確にしていきたい、と考えている。



写真 4-1 クリスマスコンサート



写真 4-2 リースコンテスト



写真 4-3 ペットボトルツリー



## 5. 他団体との交流

2001年4月に、学生主体でありながら商店街と提携して事業を行う「エスコ」が高知市の中心商店街にて発足した。このエスコは、全国で初めて学生まちづくり団体として成功し、今では商店街になくてはならない団体にまで発展している。この動きを受け2003年3月に広島でSmS、7月に富山でT-angels、そして9月に松山でMスタが相次いで発足した。これら4団体が集まり、交流を深める目的で『第1回全国エスコーターズサミット』が高知にて開催された。そして、お互いに交流を深め、活動を続けていくことを誓って協定書に署名と調印を行い、姉妹協定を締結した。

今年度のMスタの取組の締めくくりとして、『学生まちづくりサミット』を、2005年3月12日(土)・13日(日)の二日間にわたって松山で開催し、のべ40人が参加した。姉妹協定を提携した残りの3団体(T-angelsは都合により不参加)にて姉妹協定の具体化を進めていった。

2日間にわたるサミットの中で、どの団体においても、活動のマナー化や企画力の無さ、また周囲に活動を理解されていない、などの問題点が指摘された。これらの解決には、活動は継続的ながらも常に新しいことをしていかなないと周囲にも認められないし、また自分たちもマナー化してしまう。しかし自分たちだけで常に新しいことを考えていくことは困難である。そのために、今まで以上に活動やイベントなどの報告を行い、情報開示をしていくこと、また商店主や来街者と積極的にコミュニケーションをとることが必要である、との共通見解を得た。(写真5-1、5-2)

このサミットで、「通常活動、イベントなど形態を問わず、お互いの活動について報告・活動・連絡を行っていく」、「相互リンクを張り、ウェブ上で簡単に行き来できるようにする」という内容の共同宣言の同意書をまとめ、調印した。(写真5-3)



写真 5-1 意見交換①



写真 5-2 意見交換②



写真 5-3 調印式②(他団体との交流)



写真 5-4 合同活動

## 6. まとめ

これまで、中心商店街は多くの商店が集まり、周辺住民の利用が盛んな環境にあり、地域の経済及び社会の発展にとって重要な役割を果たしてきた。しかし、近年、都市の中心商店街の空洞化が進行している。松山では、その傾向が顕著にあらわれてはいないが、継続的な通行量調査の結果によると、客離れが少しずつ進んでいる状態にある。また、組合ごとに別れそれぞれでイベントを立ち上げていることや、商店街と来街者との間で求めているものの差があるという商店街の現状がある。そこで、松山の中央商店街では平成14年度より商店街マネージャーを常駐させ、まちの活性化に資する『松山商店街マネジメント推進事業』が進められている。これは、松山の中心部の3つの商店街をひとつの事業体と見立て、総合的なまちづくりを行うというものである。

また、全国各地の商店街でも都市の中心市街地の空洞化が進行するなか、大学生や商業高校と連携した商店街の活性化やまちづくり事業が進められ、成功例が高知・富山などで見られる。少し疲れの見える商店街にとって学生との連携は、新たな起爆剤となり得る取り組みであると私たちは考えた。

本プロジェクトを通して「商店街の活性化」を論じるとき、個店の魅力を発信し、広く市民に知ってもらおうと共に、商店街全体の雰囲気をよくしていくことが商店街の活性化につながる、ということが見えてきた。さらに、学生の特徴として、学生から社会人までの多種多様な年齢層・職業にまで関わり(人脈)がある。新しい情報に敏感でもあるので、広い人脈に合わせ情報の広がりが早いことも特徴と言える。また、学生は社会への関心が高く、行動力がある。これらの学生の特徴を活かすことで、商店街の活性化の起爆剤、さらにはその発展を担っていける力になるのではないかと考えた。

そうしてひとつの事業体として運営する組織体として「学生まちづくり団体Mスターターズ」を結成し、商店街と来街者、また商店街と商店街をつなげるための架け橋になるという新たな組織活動の形態を商店街に提案した。そして今この形態が、全国で認められ、松山にも定着してきた。今後において、これらの事業成果を基に、全メンバーが一丸となり、さらに商店街が活性化していくように、取り組んでいきたいと思っている。

## 7. 謝辞

本プロジェクトの実施にあたり、格別のご指導をいただきました松山中央商店街の森忠士商店街マネージャー、(有) 邑都計画研究所の前田眞先生、愛媛大学法文学部の堤先生をはじめ、商店街関係者の皆様、Mスタの皆様、各種協力団体の皆様、又松山市・松山商工会議所の職員の皆様等に対しまして、深甚なる感謝を申し上げます。

平成 17 年 3 月

愛媛大学農学部生物資源学科

近藤美由紀

はじめまして、こんにちは！



です。

### Mスターターズとは？

「まちを元気にしたい」という思いを持った学生が集まって、2003年10月に結成された団体です。メンバーは松山大学と愛媛大学の学生で構成されており、チームカラーであるオレンジのサンバイザーとTシャツを着て活動しています！

### 名前の由来

Mスターターズの『M』には4つの意味があります。

まつやまの『M』

みんなの『M』

まちづくりの『M』

まごころの『M』

この『M』を心に留めて活動をしています。

Mスターターズの『スターターズ』は～Starters～

『まちづくりを、ここから始めよう！』という意味が込められています。

### 活動内容

毎週土曜日の11:00～16:00に松山市の中心商店街(まつちかタウン・銀天街・大街道・ロープウェイ街)を活動範囲として、清掃活動・お客様へのご挨拶・街のご案内・お年寄りのエスコート・携帯灰皿やおりがみの配布を行っています。他にも商店街のイベントにも積極的に参加し、私たちMスターターズから企画を提案したりもします。

2004年4月には広報誌「ぼんぼこ」を作成・発刊しました。隔月発行ですが、商店街のイベントやお店紹介などを掲載し、まちをもっと知ってもらえるよう情報を発信しています。

### 私たちの目標

「まちをひとつに」

この目標には、4商店街を今よりつながりのあるものにしたいという思いと、商店街内外関係なく、人と人とのつながりをさらに強めようという思いが込められています。そのためにも街に来られるお客様と商店街の架け橋となり、街で活動して感じたことやお客様の声を商店街に伝え、学生だけでなく、商店街の人たちとも一緒にによりよい「まちづくり」を目指して頑張っています。

まちで見かけたら、ぜひ声をかけてくださいね♪

松山中央商店街連合会内 Mスターターズ事務局

〒790-0012 松山市湊町4丁目8-15

TEL 089-998-3533 FAX 089-998-3588

URL <http://home.e-catv.ne.jp/oidenka/M/index.htm>

E-mail [mcube\\_msta@mail.goo.ne.jp](mailto:mcube_msta@mail.goo.ne.jp)



# ぽんぽこ

4月創刊号

Mスターターズ発行

1ぽこ



## 《ぽんぽことは?》

『ぽんぽこ』という名前は、Mスターターズのロゴにも使われている『たぬき』を元に考えました。松山は、たぬき伝説が数多く残され神社なども多いのです。また、松山中央商店街連合会は、札幌の狸小路商店街と姉妹都市協定を結んでいます。私たちMスターターズは、このようにたぬき伝説などの松山の特色を活かして、街づくりをして行こうと考えています。その活動や思いが皆様に届けばいいなと思い、広報誌『ぽんぽこ』を作成しました。

## X'mas Street 2003 ～初のクリスマスイベント～

～2003年12月21日～  
テーマ『音と光とぬくもり』

☆  
☆  
☆  
内容  
☆  
☆  
☆

### ☆リースコンテスト☆

一般の方から手作りリースを募集!  
入賞者には商品が!!

### ☆イルミネーション通り☆

アーケード内に手作り  
イルミネーション

### ☆クリスマスコンサート☆

圓光寺前のステージで、  
手作りコンサート

銀天街で『X'mas Street 2003』を開催しました。Mスターターズと商店街の人々が協力してひとつのものを作り上げることにより、交流を深めていき、買い物に来られるお客様にクリスマスの雰囲気を楽しんでもらい、商店街の活性化につなげることができ、このイベントをとおして商店街の人々とお客様に、素敵なクリスマスをお届けすることが出来ました。



聖書ゴスペル研究会の皆さん

## 落書き消し体験会

～落書きを許すな!!～

二月七日、番町地区安全で安心なまちづくり推進協議会主催の落書き消し体験会が行われました。

当日は地域関係者や松山市長をはじめ、小学生の皆さんやその保護者、市民ボランティアなど約90名が参加し、大規模な落書き消し体験会となりました。

## 編集後記

春がやってきました。活動開始から早6ヶ月、私たちMスタも、はじめて新入生を向かえる季節となりました。春は出会いの季節、今年はどうな出会いがあるのか、今から楽しみです(\*^▽^\*)  
まずは、街に出て、Mスタの活動風景を見てみてください☆  
ホームページも見てみてね♪♪  
(by さま)

## メンバー募集

### 《Mスターターズって?》

大学生で結成された『まちづくり団体』です!  
愛媛大学、松山大学、医療技術短期大学の  
大学生22名で活動中です。

### 《どんな活動をしているの?》

日時...毎週土曜日 11時～16時(通常活動)  
毎週火曜日 17時45分～20時ごろ(会議)  
活動場所...大街道、銀天街、まっちゃんタウン、ロープウェー街  
会議場所...松山大学、愛媛大学、Mスターターズ事務局

4つの商店街で、

- お客様にご挨拶
- 街のご案内
- お年寄りのエスコート
- 携帯灰皿や鈴玉の配布
- 清掃活動
- 地域に密着したイベントの企画・運営
- 活動や商店街を元気にする為の会議



活動中のメンバー

活動や会議の見学・体験も大歓迎です(๑^\_^๑)

### ■連絡先■(Mスターターズ事務局)

TEL 089-998-3533  
E-mail mcube\_msta@mail.goo.ne.jp  
URL <http://home.e-catv.ne.jp/oidenka/M/index.htm>

《Mスターターズ お店紹介》

今回のテーマ

『新生活』

春になるとカバンがほしくなる♪新生活、新しいカバンではじめてみませんか？

バックショップ

ワタナベ

1933年創業、今年で70周年を迎える老舗。2階建ての店内には数多くの商品がところせましと並んでいる。それもそのはず、「わたなべ鞆店」さんは婦人用バッグ・男性用かばんなどなどが約4000点、松山一の品揃えを誇っている。お客様のNIEに合わせたいいものを安く提供するために、創業当時から“接客販売”を行っている。そのため、返品・交換などはほとんどない。現在は入学・進学・就職の時期にそなえ、実用的なものを次々に入荷している。

営業時間 10:00~19:30  
定休日 水曜日(不定休)  
TEL・FAX 089-921-3821



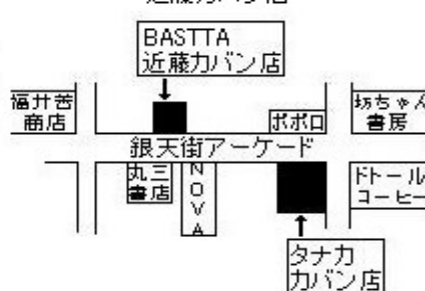
ワタナベカバン店



Map (バックショップワタナベ)



近藤カバン店



Map(近藤カバン店、タナカカバン店)



タナカカバン店

Bag Shop BASTTA

近藤カバン店

近藤カバン店は旅行カバン、ビジネスバック、リュックサックなどを中心に、幅広い品揃えがあり、流行に敏感で、話題の商品が多く取り揃えられている。今はPUMAが充実。また、店長さんが限定品好きとあって、リミテッド(限定版)が豊富で、愛媛でここにしかない商品もある。うれしいことに、プレミアム価格をつけないで販売している。最近はパソコンの入るリュックサックが人気。ホームページでも商品を買うことが出来るので、一度覗いてみては。

営業時間 11:00~19:30 定休日 水曜日(不定休)  
TEL・FAX 089-943-4084  
E-mail bag@3ai.ne.jp  
URL <http://www.bastta.co.jp>

タナカカバン店

タナカかばん店は、日本のファクトリーブランドを大切にしておしゃれでちょっと変わったカバンやBag、財布を数多く取り扱っている。品揃えの良いタナカさんで購入したカバンやBag、財布は一部の物を除き、修理無償のサービスが付く。メーカーの違う部品や技術を使わず、デザインを損なわないこだわりを持っている。春のお勧めは、皮、綿、麻素材等の自然素材のBag。とても春らしい花柄もある。セールスマンよりアドバイザーの気持ちを持つstaffに相談すれば、あなたに合った新しいスタイルが見つかる！

営業時間 10:00~19:00 定休日 水曜日  
TEL・FAX 089-921-5783  
E-mail megarith@aurora.dti.ne.jp  
URL <http://www.rakuten.co.jp/bag-tanaka/>  
<http://www.veristors.com/bag-tanaka/>